

学年	教科	科目	教科書名	副教材名
高校3年 特別進学文系	国語	漢文研究	精選古典探求 漢文編 (東京書籍)	下記参照

1. 授業のねらい

- ・これまでの高校1・2年次で学習した内容の確認及び、総復習を行います。
- ・基本的な句法の復習から、大学入試レベルの漢文読解力を養います。
- ・共通テストタイプの問題や、私大入試問題などの各種演習を中心として、実践力・応用力を磨きます。

2. 授業のすすめ方

- ・授業で演習問題を取り扱う際は、①時間を計って問題を解く(20分程度)⇒②解説を行いつつ⇒③答えあわせ・まとめという流れで進めていきます。
- ・授業中では、口語訳や文法事項・重要語句などを状況に応じて、適宜板書していきます。
- ・電子黒板やiPadを用いて、作品理解の一助となる視覚的情報も紹介します。

3. 学習上の留意点

- ・ノートや配布プリントに、板書事項や話したことを記録し、学習に役立ててください。
- ・問題を解く前に、解法や読解する上での注意点などを指示する場合があります。
- ・漢文は、授業後に全文の通釈を読んで、全体の内容を把握するように努めてください。

4. 副教材・参考文献

- ・「新明説漢文」(尚文出版)
- ・「大学入試 国語頻出問題1200」(いっぴずな書店)
- ・その他、必要に応じて随時、資料および問題演習プリントを配布します。

5. 評価の視点・テスト・課題等

- ・定期考査、課題提出、授業態度などで判断します。
定期考査100点満点(授業内容の理解・応用)＋平常点20(10)点(ノートや、課題の提出など)

6. 定期考査

- ・授業で学習したことを中心に出題します。授業中で配布したプリント類からも出題します。
- ・定期考査には応用問題(初見の問題)も出題します。

※ 状況によって内容の変動が生じる場合があります。

7. 授業計画

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
一 学 期	4	○句法の確認	口語訳・内容読解及び、解答の確認を発問によって行っていく。 各種プリントの提出。 定期考査（中間・期末考査）	正確な訓読を確認。 書き下し文の作成。 置き字、再読文字の確認。 漢文の構造の特徴把握。 句法を踏まえた口語訳。 歴史的背景の確認。
	5			
	6	○漢文の重要語の確認		
	7	○問題演習 ・共通テストタイプの問題を解き、その解説を行う。		
二 学 期	9	○漢詩の確認	口語訳・内容読解及び、重要古語や文法事項の確認を発問によって行っていく。 各種プリントの提出。 定期考査（期末考査）	漢文分野に於いて上記の項目を理解し、解答する際の時間配分を考え、解答を導くための根拠探しができるようにする。 記述問題解答の要点を説明。
	10			
	11	○問題演習 ・大学入試の過去問を解き、その解説を行う。		
	12			
三 学 期	1			
	2			
	3			

※シラバスの内容は進度によって変更する場合があります。